

2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月23日

上場会社名 株式会社モバイルファクトリー 上場取引所 東
 コード番号 3912 URL <https://www.mobilefactory.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 裕二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 兼 計数管理部部長 (氏名) 永久保 英之 (TEL) 050-1743-6211
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績 (2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA (注2、3)		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	2,562	3.4	887	9.4	887	9.4	890	7.8	615	6.2
2025年12月期第3四半期	2,478	5.4	811	15.1	811	15.1	826	17.6	579	22.2

(注) 1. 包括利益 2026年12月期第3四半期 615百万円 (5.1%) 2025年12月期第3四半期 585百万円 (25.5%)

2. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 株式報酬費用

3. EBITDAにつきましては、営業利益に並ぶ重要経営指標であります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	93.65	—
2025年12月期第3四半期	80.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	3,222	2,565	79.6
2025年12月期	3,979	3,083	77.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第3四半期 2,564百万円 2025年12月期 3,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2026年12月期	—	25.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	26.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,500	2.1	1,170	4.3	1,180	3.0	819	67.7
								126.56

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. EBITDA 1,170百万円 (4.3%)

3. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 株式報酬費用

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社 (社名) 、除外 ―社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 3 Q	7,925,495株	2025年12月期	8,925,495株
② 期末自己株式数	2026年12月期 3 Q	1,431,657株	2025年12月期	1,788,457株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 3 Q	6,576,396株	2025年12月期 3 Q	7,247,440株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、四半期決算説明資料をTDnetにて同日開示いたします。また、本日当資料をもとに機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は前年同期比3.4%増の2,562,432千円、EBITDAは同9.4%増の887,637千円、営業利益は同9.4%増の887,338千円、経常利益は同7.8%増の890,266千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同6.2%増の615,902千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・モバイルゲーム事業

モバイルゲーム事業における主力サービスである位置情報連動型ゲーム「駅メモ！（ステーションメモリーズ！）」につきましては、進捗期において新規商材の投入や親和性の高い他社IPとのコラボイベントを実施したことなどが寄与し、売上高・営業利益ともに前年同期を上回り、当第3四半期連結累計期間及び会計期間で過去最高となる結果となりました。

当該期間において、バトルイベントをはじめ、アクセサリガチャやおでかけパス並びにスペシャルミッション等の販売が好調だったことに加え、収益確保に向けた各種施策が売上を下支えいたしました。また、アプリ外課金ショップの利用率伸長に伴うプラットフォーム手数料の削減による費用減少が、利益面において寄与しております。

事業展開におきましては、地域創生への貢献を目的として「自治体・公共Week 2026」へ出展し、当サービスを活用した地域活性化に貢献する取り組みを紹介いたしました。また、令和8年熊本地震の被災地支援への取り組みも行いました。今後も地方自治体や鉄道事業者との協業、新たな企画を通じてサービス価値の向上に努めてまいります。

この結果、同事業の売上高は2,387,820千円（前年同期比4.5%増）となり、セグメント利益は760,039千円（前年同期比13.0%増）となりました。

・コンテンツ事業

コンテンツ事業では、自社で運営する各着信メロディサービスの課金会員数が緩やかな減少傾向にあり、売上高は減少いたしました。一方で、効率的な事業運営により、安定した利益水準を確保しております。

この結果、同事業の売上高は174,611千円（前年同期比9.3%減）となり、セグメント利益は130,827千円（前年同期比8.9%減）となりました。

・その他

その他につきましては、Suishow事業で構成されており、セグメント損失は3,528千円（前年同期はセグメント損失5,317千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ756,576千円減少し、3,222,813千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ707,732千円減少し、3,086,046千円となりました。これは主に、現金及び預金が561,300千円減少、売掛金が124,335千円減少したものであります。その内訳としましては、配当金の支払、自己株式の取得、法人税等の税金の納付、及び賞与の支給に伴う減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ48,843千円減少し、136,766千円となりました。これは、投資有価証券が29,078千円減少、繰延税金資産が19,466千円減少したものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ238,667千円減少し、657,005千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ238,667千円減少し、657,005千円となりました。これは主に、未払法人税等が132,042千円減少、未払金が66,851千円減少、賞与引当金が42,316千円減少したものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ517,909千円減少し、2,565,808千円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が615,902千円増加した一方で、自己株式の取得により自己株式が799,965千円増加、及び配当金の支払いにより利益剰余金が333,634千円減少したものであります。なお、2026年3月31日付で自己株式の消却を行い、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,083,785千円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年1月29日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,149,830	2,588,529
売掛金	566,987	442,652
貯蔵品	5,414	5,043
前払費用	51,699	36,841
その他	19,872	13,003
貸倒引当金	△25	△24
流動資産合計	3,793,779	3,086,046
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	2,206	2,206
減価償却累計額	△1,808	△2,107
工具、器具及び備品（純額）	398	99
有形固定資産合計	398	99
投資その他の資産		
投資有価証券	123,912	94,834
繰延税金資産	30,259	10,793
敷金及び保証金	31,040	31,040
投資その他の資産合計	185,212	136,667
固定資産合計	185,610	136,766
資産合計	3,979,389	3,222,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,156	17,426
未払金	480,386	413,535
未払法人税等	217,033	84,991
未払消費税等	46,756	44,216
前受金	66,544	69,437
賞与引当金	58,897	16,581
その他	3,899	10,817
流動負債合計	895,672	657,005
負債合計	895,672	657,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,757	504,757
資本剰余金	280,257	280,257
利益剰余金	4,131,328	3,329,811
自己株式	△1,835,428	△1,551,608
株主資本合計	3,080,914	2,563,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,544	1,333
その他の包括利益累計額合計	1,544	1,333
新株予約権	1,258	1,258
純資産合計	3,083,717	2,565,808
負債純資産合計	3,979,389	3,222,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
売上高	2,478,184	2,562,432
売上原価	1,202,639	1,114,134
売上総利益	1,275,545	1,448,297
販売費及び一般管理費	464,463	560,958
営業利益	811,081	887,338
営業外収益		
受取利息	7,655	13,632
暗号資産評価益	290	-
為替差益	4,119	480
雑収入	8,705	413
営業外収益合計	20,770	14,526
営業外費用		
投資事業組合運用損	4,291	9,925
自己株式取得費用	1,441	1,597
暗号資産評価損	-	75
雑損失	10	-
営業外費用合計	5,743	11,598
経常利益	826,108	890,266
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,780
特別利益合計	-	1,780
特別損失		
投資有価証券評価損	0	-
訴訟費用	1,173	1
子会社清算損	251	-
特別損失合計	1,424	1
税金等調整前四半期純利益	824,683	892,044
法人税、住民税及び事業税	237,780	256,774
法人税等調整額	6,926	19,367
法人税等合計	244,706	276,142
四半期純利益	579,977	615,902
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	579,977	615,902

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
四半期純利益	579,977	615,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,635	△211
その他の包括利益合計	5,635	△211
四半期包括利益	585,613	615,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	585,613	615,691
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年1月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式643,200株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が799,965千円増加しております。

また、同日開催の取締役会の決議に基づき、2026年3月31日付で自己株式1,000,000株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,083,785千円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が3,329,811千円、自己株式が1,551,608千円となりました。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
減価償却費	403千円	298千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他(注2)	合計
	モバイルゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,285,713	192,471	2,478,184	—	2,478,184
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,285,713	192,471	2,478,184	—	2,478,184
セグメント利益 又は損失(△)	672,758	143,640	816,399	△5,317	811,081

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Suishow事業となります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他(注2)	合計
	モバイルゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,387,820	174,611	2,562,432	—	2,562,432
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,387,820	174,611	2,562,432	—	2,562,432
セグメント利益 又は損失(△)	760,039	130,827	890,867	△3,528	887,338

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Suishow事業となります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

訴訟の和解成立について

2026年10月1日に「和解契約の締結に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、当社が片岡夏輝氏(以下「片岡氏」といいます。)に対して提起しておりました株式譲渡契約に基づく損害補償等請求訴訟(以下「本件事件」といいます。)、及び片岡氏が当社に対して提起しておりました株式譲渡契約に基づく追加対価の支払請求訴訟(以下「本件反訴事件」といいます。)につきましては、当社と片岡氏との間で、裁判外において和解契約を締結し、当社と片岡氏との間の一連の紛争は解決することとなりました。

なお、公表以外の和解内容の詳細につきましては、和解契約の秘密保持条項に基づき、開示は差し控えさせていただきます。

また、今後の見通しにつきましては、当社は本和解に基づく解決金を計上する見込みであり、本件反訴事件の取下げ後には、追加対価として計上済みの未払債務の戻し入れが生じることが見込まれます。

当社は、当該解決金及び当該未払債務の戻し入れにより生じる利益の合計額を、2026年12月期の連結財務諸表において特別利益として計上する予定です。なお、当該特別利益の合計額は、直前連結会計年度(2025年12月期)の親会社株主に帰属する当期純利益の30%を上回ることが見込まれております。その他の和解契約に基づく権利行使又は義務の履行に伴う当社の連結業績への影響につきましては、現在精査中であり、今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。